



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和4年11月25日

- 思いやりのある子
- たかましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子

発行者 校長 池下栄里子

全国学力・学習状況調査の結果から②

前号に引き続き、今年度の「全国学力・学習状況調査」の「児童質問紙調査」から見える、本校の子どもたちの様子についてお伝えします。

今回は、本校の課題となる項目と今後の学校と家庭での取組についてです。

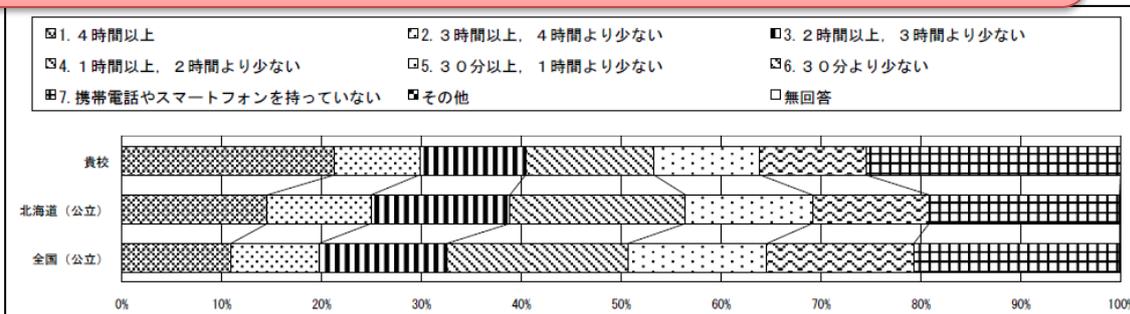
否定的（マイナス）な項目

- ・スマホのルール遵守
- ・ゲームや動画視聴時間
- ・あきらめないで挑戦
- ・人を助ける
- ・読書時間、読書への興味
- ・新聞を読む習慣
- ・地域行事への参加
- ・家庭学習への取組や取組時間

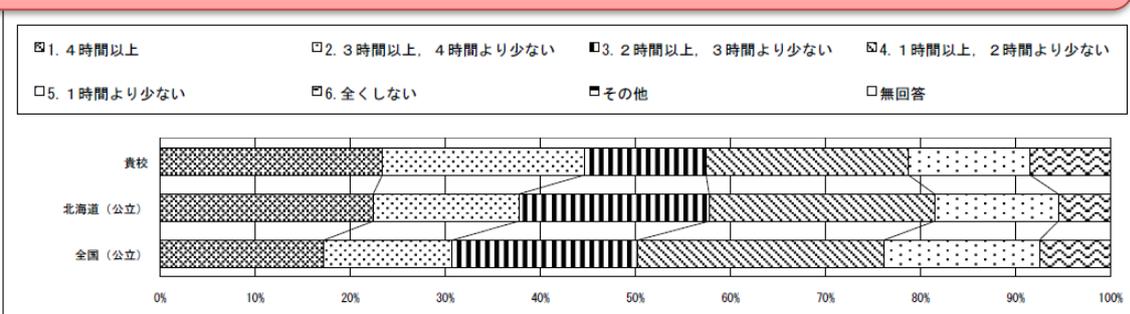
学習習慣

生活習慣

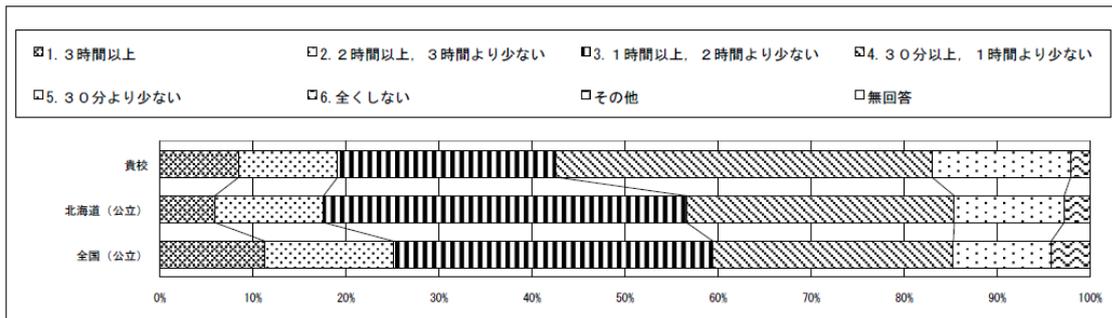
★普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



★普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



★学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



家庭での学習時間の目安は、「学年×10分」程度（「学年×10分+10分」、「学年×15分」というような考え方もあります）です。それぞれのお子さんやご家庭の状況にもよりますが、6年生であれば1時間～1時間30分程度の学習時間が目安となります。本校の結果からは、「30分より少ない」、「全くしない」という児童が全体の約17%、「1時間より少ない」まで入れると全体の6割近い割合となります。学習時間に反して、携帯やスマホでのSNSや動画視聴時間、ゲームに要する時間は多い傾向が見られています。特に、SNSや動画視聴時間が「4時間以上」と回答した児童が2割以上と、全国と比べても非常に高い割合であることがわかります。これは、6年生を対象とした調査結果ではありますが、他の学年にお子さんがあるご家庭ではどのような様子でしょうか。学んだことをしっかりと身に付けるためには家庭での学習習慣はとても大切です。ゲームや動画視聴時間等と合わせ、小学校の期間に望ましい学習習慣や生活習慣が子どもたちに身に付いていくよう、ぜひご家庭の協力をお願いしたいと思います。

【学校と家庭では・・・】

学校では・・・

① 基礎・基本の確実な定着を図ります

- 漢字や計算への反復学習に取り組みます
- 資料や問題文を読む体験の積み重ねに取り組みます
- 習熟度別少人数指導の効果的な活用を図ります
- ICTドリルの効果的な活用を図ります
- チャレンジテストの活用を努めます
- 校内研修と連動し、基礎基本の定着を目指した授業改善に努めます

② 組織としての授業改善を図ります

- 1時間の授業の流れの確実な定着（課題とまとめ、伝え合う場面が明確な授業）を図ります
- 学習の足跡がわかるノートづくりへの取組を進めます
- 各種調査結果の早期分析、改善プランへの反映を図ります

③ 学習規律や学習習慣の定着を図ります

- 全校で学習規律の指導徹底と家庭学習の取組推奨、賞賛に努めます

④ 特別の教科道徳の授業の充実を図ります

- 授業を通し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図ります

家庭では・・・「よくわかる！北栄小学校」を活用し、

よりよい学習習慣、生活習慣の定着に向けた取組へのご協力をお願いします

⑤ 家庭学習や読書習慣の育成・定着をお願いします

- 10分間×学年を目標に、時間帯を決めて毎日継続するよう声かけをお願いします

⑥ よりよい生活習慣定着に向けて

- 「早寝・早起き・朝ご飯」の意識の育成をお願いします
- テレビやゲーム時間を減らし、家庭学習・読書・団らん時間にするようお願いします

子どもたちの成長のため、学校と家庭が連携・協働し取組を進めていきましょう。